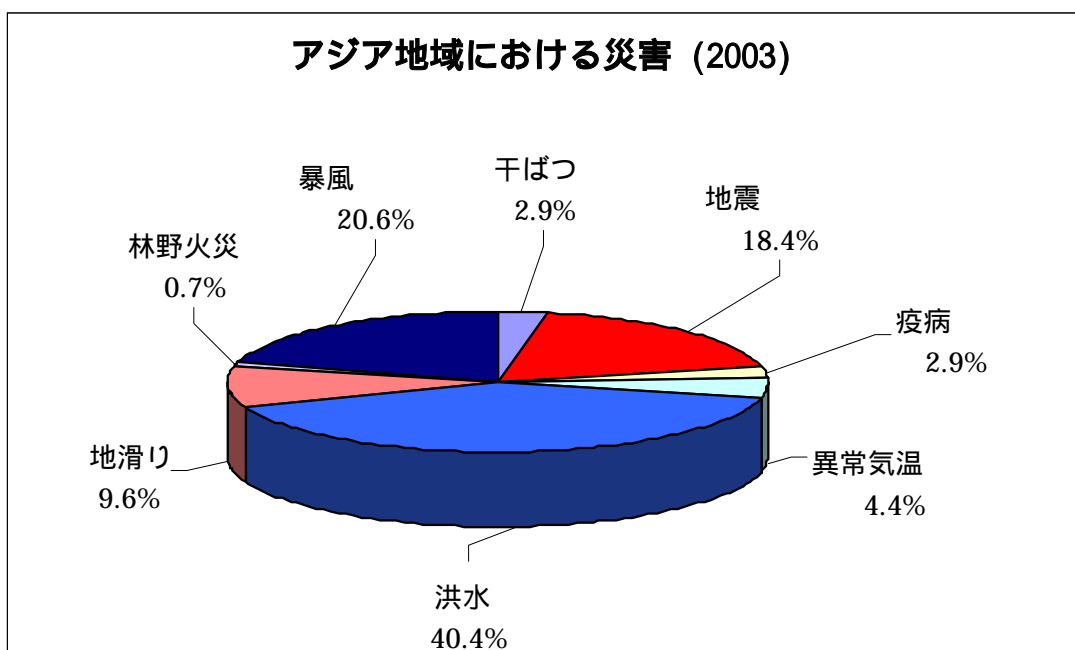


3.2.3 アジア地域の特徴

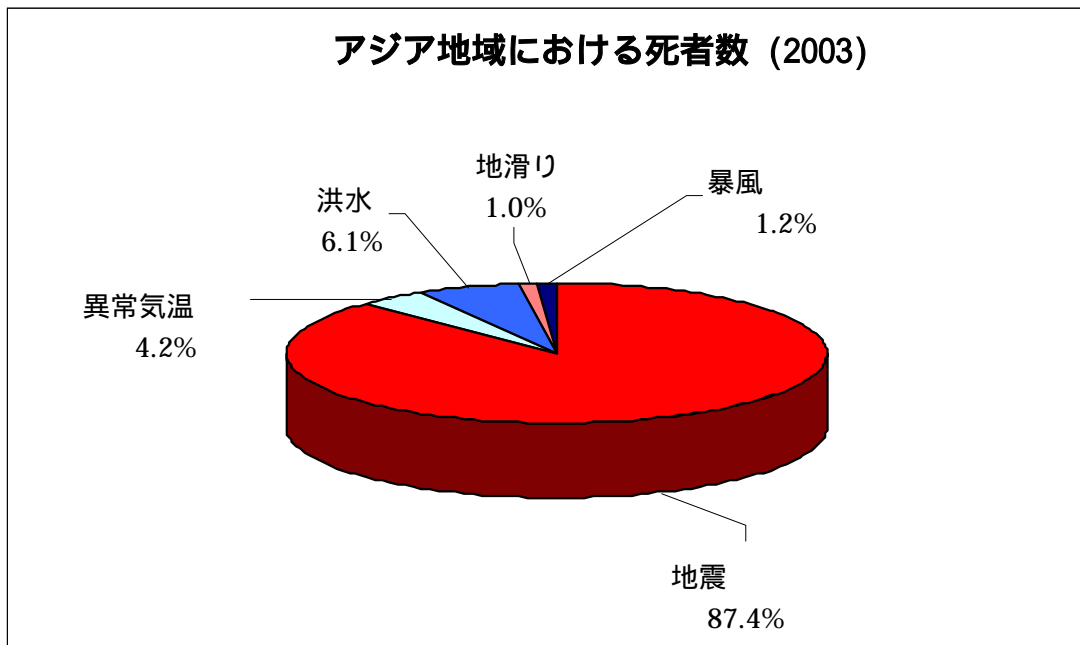
前述のとおり、アジア地域は自然災害に対して極めて脆弱な地域である。このような傾向は、ここの分析でも観察することができる。図 35 によると、洪水、暴風、地震が他の災害に比べ、際立って多く発生した。アジア地域における災害の発生数のうち、61%を暴風と洪水が占め、続いて地震が 18%となっている。しかし、死者数の図 36 では、中国、インド、スリランカ、バングラデシュで起こった洪水に加え、イランで発生したバム地震により、多くの人的損失をもたらされたことを示している。被災者数を表した図 37 を見ると、2003 年には、干ばつ、洪水、暴風が、多くの人々に被害をもたらした。さらに、経済的損失の 99%近くが、洪水、暴風、地震によるものであった（図 38）。従って、アジア地域は、災害が大変起こりやすい地域であるだけでなく、気象災害や地象災害に対して脆弱な地域であることがわかる。次の図 35～38 は、このような傾向を明確に表したものである。

図 35



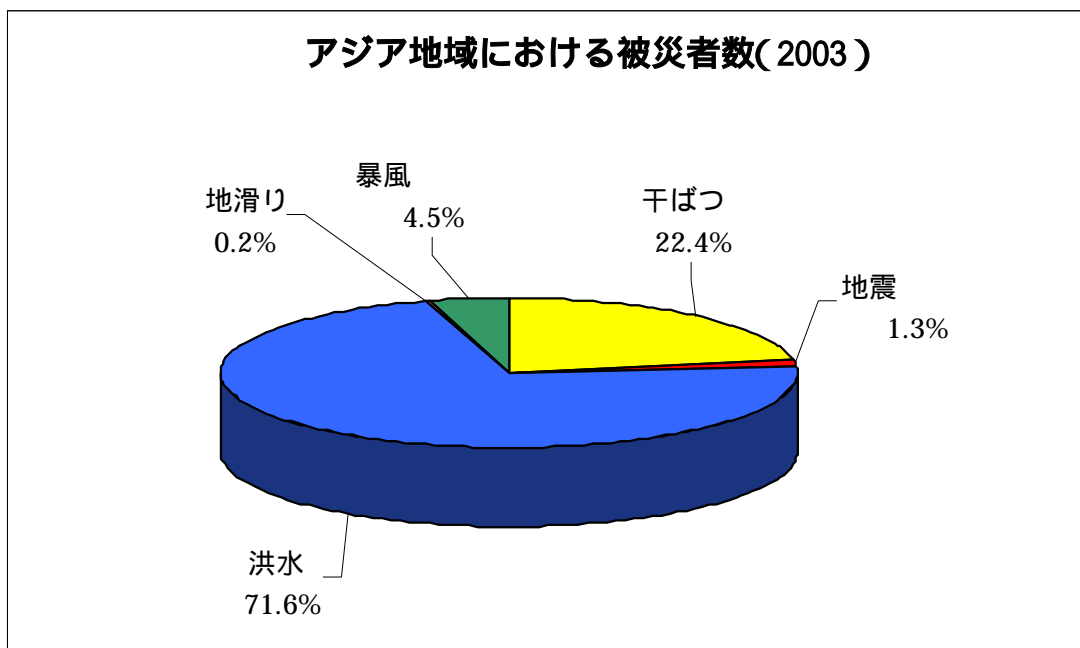
出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベンカトリック大学・ベルギー)、2003年

図 36



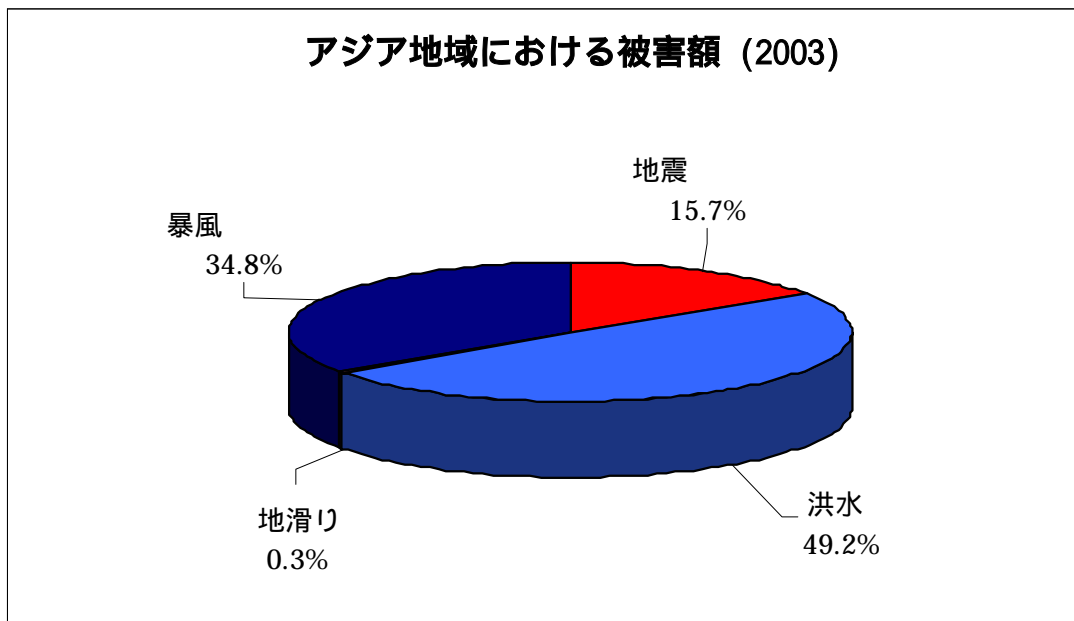
出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベントリック大学・ベルギー) 2003年

図 37



出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベントリック大学・ベルギー) 2003年

図 38



出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）2003年

3.2.4 ヨーロッパ地域の特徴

2003年のヨーロッパは、2002年の大洪水に引き続き困難な一年となった。以下の図39～42にみられるように、異常気温（熱波）とその結果生じた干ばつにより、多くの人々の生命が奪われた。図39によれば、2003年に発生した災害は、洪水と異常気温で、全体の53%を占めている。死者数については、図40に示したとおり、異常気温（熱波）が原因のものが多数を占めた。これらの災害だけで、2003年のこの地域における死者数の99%を占めるに至った。さらに、図41にあるように、被災者のうち95%が干ばつによるもので、昨年とは対照的な様相を示した（2002年は、洪水による被災者が84%であった）。また、図42からは洪水がこの地域の経済活動に大きな影響を与えたことがわかる。2003年のヨーロッパ地域は、昨年度と同様、気象災害により深刻な被害をもたらされたといえる。